



第58号

令和8年4月10日

発行責任者

千歳市町内会連合会
会長 荒 洋一

北海道千歳市東雲町1丁目
10番地 東雲会館 1階
TEL : 0123-49-7100

印刷：千歳印刷株式会社

60th
1966 → 2026

市町連創立60周年記念式典・祝賀会

翔

＝ 地域をはぐくみ 未来へ翔ける ＝



千歳市町内会連合会創立60周年記念式典



千歳市町内会連合会は創立60周年を迎え、令和8年2月6日(金)午後3時からホテルグランテラス千歳「鳳凰の間」において、記念式典並びに記念祝賀会を開催しました。

創立60周年のテーマを「翔～地域をはぐくみ 未来へ翔ける～」として、横田千歳市長をはじめ、多くのご来賓と町内会関係者など総勢119名の方々とともに、これまでまちづくりを支えてきた先人たちへの感謝とその志を受け継ぎながら、これからの新たな一歩に向けた節目にふさわしい式典となりました。

また、本年が空港開港100年を迎えるにあたり、記念講演として千歳航空協会会長 山口幸太郎様をお招きし「新千歳空港の発展と歴史」と題し、村民手作りの着陸場から今や9万7千人のまちへと成長した千歳市と共に歩み続ける新千歳空港について、まちづくりに直接関わった経験とともに、市民と乗り越えたまちの困難の歴史を交えながら現在に至るまでの数々のエピソードと今後の展望を熱く語っていただきました。



荒会長は式辞の中で、会が昭和41年に16町内会で発足してから千歳市社会福祉協議会や千歳市コミュニティ協議会連合会の歴史を受け継ぎながら、現148町内会で組織する連合会へ発展し、本日60周年を迎えることができたのは、これまでの役員並びに町内会の皆様方の弛まない努力と協力に感謝するとともに、超高齢社会や少子化がさらに進み急速に変化する町内会を取り巻く環境に対しては、地域コミュニティの重要性を再認識し、市町連が掲げる3つの優先課題に積極的に取り組みながら、すべての人が住み慣れた地域で、人と人との繋がりを大切にし、共に支え合い、助け合えるあったかみのある地域づくりを目指していくと決意を述べました。

組織する連合会へ発展し、本日60周年を迎えることができたのは、これまでの役員並びに町内会の皆様方の弛まない努力と協力に感謝するとともに、超高齢社会や少子化がさらに進み急速に変化する町内会を取り巻く環境に対しては、地域コミュニティの重要性を再認識し、市町連が掲げる3つの優先課題に積極的に取り組みながら、すべての人が住み慣れた地域で、人と人との繋がりを大切にし、共に支え合い、助け合えるあったかみのある地域づくりを目指していくと決意を述べました。

感謝状贈呈

記念式典において、地域コミュニティの推進など、市町連の発展に貢献された個人と団体に荒会長から感謝状が授与されました。

個人表彰

沼田 常好 様



団体表彰

陸上自衛隊第7師団
第11普通科連隊 様



町内会連合会創立60周年

◆ 記念式典 ◆

山崎副会長の開式の辞に続き、これまで各地域で町内会活動にご尽力いただいた関係物故者へ黙とうを捧げた後、太田女性部会長の朗読で「千歳市民憲章」を出席者全員で唱和しました。

荒会長の式辞、感謝状贈呈に続いてご来賓の千歳市長横田隆一様、北海道議会議員太田憲之様、同じく小林千代美様から祝辞を賜り、この中で横田市長からは「生活環境の変化に対応した安全で安心した暮らしには、地域コミュニティを欠くことはできず、まちの発展にはまちづくりを支える基盤となる地域活動の推進が大変重要であり、必要な支援をしていきたい」との言葉を寄せられました。また、太田道議からは「地域の自治を支えるために、町内会のICT化によるコミュニティの円滑化と共助の精神をより強固にする活動へ期待」が、続いて小林道議からは「直面する町内会の課題に対して、これまで積み上げた地域の温かい結びつきと行政では支えられない細かな課題にこたえられる地域づくりの必要性」を述べられました。

記念講演では、講師の山口幸太郎千歳航空協会会長から、千歳市が発展の裏側で乗り越えてきた幾多の困難と当時の関係者の苦悩や状況を交えて、村民総出で作り上げた着陸場から始まり100年にわたり空港と共に歩んできたまちづくりの道のりを分かりやすく、



また詳細に解説していただき、先人たちに対する感謝と同時に、これからの一歩の大切さを感じました。

沼田常好様と第11普通科連隊長太田光様より感謝状受賞のスピーチをいただき、千歳市議会議長松倉美加様の締め乾杯で、祝賀会は温かい雰囲気の中で盛会のうちに無事終了しました。

◆ 記念祝賀会 ◆

記念式典に続き開催された祝賀会では、ご来賓と町内会関係者を合わせて131名が出席されました。伊藤副会長の開会の言葉、荒会長の主催者挨拶の後、陸上自衛隊第7師団長武田敏裕様の祝杯で開宴。千歳JAZZ倶楽部の心地よい演奏とたくさんの料理に囲まれながら、これまでを振り返るとともに、これからの飛躍を誓いながら慶びのときを分かち合いました。



町内会のホームページを開設しませんか？ 回覧板等を電子化にすることも可能！

市町連では、ホームページを開設しています。各町内会（みどり台南、文京1丁目、末広中区、白樺、住吉北、富丘2丁目、北栄南、ゆうまい、本町、稲穂、幸福、みどり台北、文京、北斗南、信濃4丁目）もホームページを開設して市町連のホームページとリンクしています。ホームページ開設のご希望は、事務局までご連絡ください。

URL : <https://chitose-choren.jp/> ▶▶▶



桜木町内会 創立50周年

会長 鶴 静 子

この度、私達の桜木町内会は、発足50周年を迎えることが出来ました。

これもひとえに先人の皆様のご尽力と地域の皆様の温かいご支援とご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

50年前の昭和50年、街灯のなかったこの地に街灯設置のために有志の方で組合を設立したのが桜木町内会の始まりということです。50年間で街灯は町内193カ所に設置され、今ではそのほとんどがLED化されています。

私は、町内会発足1年後の昭和51年春から千歳に住み、住まいのある北栄からバスで工場に通っていましたが、工場の前は雑木林しかなく、この向こうには何があるんだろうと眺めていた記憶があります。その後、桜木に家を建てることになり、初めてこの地を訪れたとき、あの雑木林の向こう側は人が住んでいて、こんなに開けていたんだと感慨深いものがありました。町もきれいで公園も沢山あり、特にすこやか公園は、パークゴルフ場、遊具など老若男女が楽しめます。町内会活動も活発で年中色々な行事があり、今はなくなりましたが町内会運動会があるのは驚きでした。町内会活動は、会員の皆さんの生活が少しでも快適になるように、楽しんで

もらえるようにと、役員さんのボランティア精神と会員の皆さんの協力に支えられていることを痛感します。

近年では、少子高齢化や世帯構成の多様化に伴い、町内会活動にも様々な課題が出てきています。しかし、災害への備え、日常の安全安心の確保、地域との繋がりといった町内会が担う役割の重要性は、益々高まっている様に感じます。わが町内会でも役員さんの担い手には毎回苦労しているところですが、その度、会員の皆様の善意に支えられてきました。最近では、30代から40代の幼児を抱えたお母さんが役員を引き受けてくれたり、子供の頃、子供会が楽しかったから恩返しをしたいと役員を買って出してくれる方がいたり、また、自分達の子供も含め町内の安全の為に若い有志の方達が「見守り隊」として拍子木を打ちながらパトロールをしてくれています。この様に、若い人達が町内会に関わってくれることは大きな希望となります。「もっと夢を語りましょう」と言った役員さんがいました。

町内会を取り巻く現実、大変なこと、厳しいものが沢山ありますが、夢と理想を持って、この人達と共に、次の60周年に向けて、より魅力ある、住みよいまちづくりを共に考えていけたらと願っております。



あけぼの団地町内会 創立60周年

会長 森 地 博 幸

私たちの町内会は、創立60周年という還暦の節目を迎えることができました。こうして皆様と共にお祝いの席を囲めますことを、何よりの喜びと感じております。また、祝賀会には、千歳市長 横田隆一様をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、日頃より私たちの町内会活動に温かいご指導とご支援をいただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私たちの町内会は、昭和39年、東千歳駐屯地に勤務される自衛官48名の皆様が、この地に集団住宅を建設されたのが始まりでした。それから60年という月日が流れ、現在は約160世帯を超える規模へと発展いたしました。最近では、若い世代の方々も住まわれるようになり、街に新たな活力が生まれていることを大変心強く感じております。

時代の変化は激しいものがありますが、これまで長きにわたり大切にしてきた、「みんなで街を見守り、育てる『共助

の心』」は、今も私たちの暮らしを支える揺るぎない柱となっています。

平成30年の北海道胆振東部地震による大規模な停電や、長引くコロナ禍での活動制限など、この10年間を振り返っても、私たちは幾多の困難を共にしてきました。しかし、どのような時でも地域住民の皆様同士が、安否を確認し合い、困りごとがあれば手を差し伸べて、安心・安全な生活環境を維持し続けてこられたのは、会員の皆様お一人おひとりの、この「共助の心」があったからこそだと確信しております。

今日からまた新しい10年、そして70周年へと向けて、私たちは新しい一歩を踏み出します。これからも、この温かな繋がりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる、明るく活力あふれるあけぼの団地を築いていきたいと考えております。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。創立60周年にあたっての挨拶とさせていただきます。



Topic

町内会活性化ビジョン

千歳市では、役員の高齢化や担い手不足、加入率の低下などの長年にわたる町内会活動の課題やこれまでの市町連及び各町内会からの要望を踏まえ、これらに対する継続的な支援策として「町内会活性化ビジョン」として取り組むこととし、3月に町内会を対象とした説明会を行いました。

【実施期間】

令和8年度から令和12年度までの5年間

【事業概要】

- ❶ 町内会備品等整備事業（新規）
 - ・備品購入費や施設の改修費用の90%を補助（限度額あり）
- ❷ 町内会育成事業（拡大）
 - ・活動支援費を増額
- ❸ 資源回収事業（拡大）
 - ・奨励費単価：1kgあたり4円から6円に増額
- ❹ 自主防災組織育成事業（新規）
 - ・防災資機材の補助（2団体）
 - ・防災訓練の支援（8回）

今回の説明会での質疑内容を検討し、申請方法などの手続関係については、令和8年度に改めて説明会を開催します。



千歳市町内会 女性部長等新年交流会

「令和8年千歳市町内会女性部長等新年交流会」（太田女性部会長）が、令和8年1月16日（金）ホテルグランテラス千歳で開催され、24町内会・自治会から総勢68名が参加しました。祝宴前には、この交流会では恒例となりました「ヨルノグルニエ」さんによるバンド演奏で、ポップスから演歌まで多くの曲で会場をさらに盛り上げてくれました。

清水町5丁目町内会山本会長の祝杯で飲食と歓談が始まり、各テーブルで新年の交流を図り、高台町内会工藤副会長の乾杯で盛会に交流会を終えることができました。



勇舞・北陽地区に新しい信号機が設置されました

地域町内会をはじめ、市町連や関係機関から行政機関へ継続要望していた東8線と北信濃中通の交差点に、12月23日に信号機が新設されました。

1月14日の渡り初めには、多くの関係者が集まり、安全に通学する児童や生徒を温かく見守りました。



総務部長等連絡会議

令和8年度に向けた町内（自治）会総務部長等連絡会議が、令和8年3月4日、5日の両日に千歳市総合福祉センターで開催され、各町内会から延べ60名の担当者が出席しました。

荒会長の挨拶後、新年度に伴う各種事務手続きをはじめ、道町連共済の加入手続きや「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動」及び「災害に強いまちづくり全道運動」の申請にかかる留意事項について確認しました。また、令和8年度から始まる「町内会活性化ビジョン」についても情報提供しました。



いよいよです★

（仮称）大和地区コミセン



令和7年度の実施設計が完了し、いよいよ令和8年度から着工します。（基本設計時のイメージ図）



市町連ライン公式アカウント ▶▶▶

市町連ホームページの掲載情報や災害時の緊急情報等をお知らせします。是非、友だち登録をお願いします。



編集後記

市町連は本年2月に創立60周年を迎えることができました。昭和41年2月27日に当時の16町内会の会長が集まり、結成総会のもとで千歳市町会連絡協議会が発足。その後、千歳市社会福祉協議会へ加盟して社協の有力な組織となった。名称も変わりながら千歳市コミュニティ連絡協議会を受け継ぎ、平成26年の窓口一本化を経て現在の組織へと変革を遂げた。60周年記念講演を拝聴し、この60年は単に年月を積み上げたものではなく、先人たちがまちづくりとともに様々な苦難を乗り越えてきた努力と英知の賜物であると改めて感じた。時代と共に変化してきた社会背景や価値観ではあるが、いいことだけでは歴史は語れず、町内会維持にも大きな課題が直面している。令和8年度から5年間の町内会活性化ビジョンが始まる。魅力あるまちでありつづけるために、地域コミュニティの頼みの綱として各町内会がどのように活用するのか期待したい。